

リコネクション日記

文・絵 くに坂 えて

2014年
2月

出会い

リコネクションからの便り



その本を読んだとき、
わたしの手がピリピリと
していた。

頭がボーッとして、変な感じだ。その本の名前は、「ザ・ゲート」Dr. エリック・パールが書いた、リコネクションについての本だ。

そこからわたしの人生はじょじょに、じょじょに、それでいてあっという間に変わっていった。

他人からすれば大きな差はないかもしれないが、約8年もここに伏せていたわたしの大きな転機と

なった。

わたしの病名は副腎疲労症候群。慢性疲労症候群の人は、副腎疲労が原因であるなどといわれているものだ。

末期に片足を突っ込んでいると診断された。簡単に説明すると、体がだるくて動けない。

ものすごく疲れやすい。トイレに行くのも、布団から起き上がるのにも一苦労だ。

働くこともままならず、基本的に

布団に入り横になる生活だ。



それに小さい頃から偏頭痛持ちで、ここには書ききれないほど多くの症状があった。

本を読んでいる最中に意識がボーッとなり、体の一部がピクピクとけいれんし出した。

わたしのそばにエネルギーが集まってきているような感じがあった。それは大きな空の雲の流れのように雄大なものだった。何日かはボーっとしていたように思う。それから少しして、急に外に出てみようと思った。

何年も体調のせいで会えずにいた友だちに会ってみようと思えた。なぜだか、元気になったからだ。そこからわたしと外との交流が始まった。

何年も出かけられなかったわたしが、近くのスーパーに買い物に出始めた。出てみると、とっても近くて不思議な感じがした。

こんなにも近いところなのに、わたしは来られなかったんだ。そんなふうに思った。

久しぶりの外は夢の中にいるような感覚だった。懐かしい電車のアナウンス、警告音。その全てが懐かしく、現実となって、今わたしの耳に響いてくる。ただただ不思議な感じだった。ここまで来たのか。

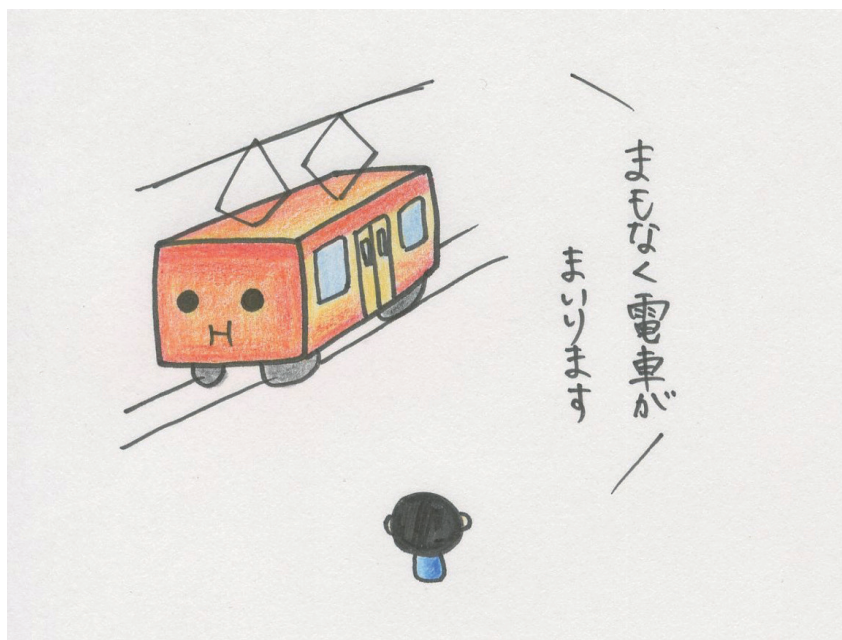
その後、思い切って母と遠出をしたことは、今でもなにかに連れて行ってもらったような感覚がある。

本を読んだだけで、こんなに変化があるなら、実際にヒーリングを受けたらどれくらいことが起こるに違いない

と考えたわたしは、さっそくリコネクティブヒーリングを受けることにした。

ここで、誤解のないようにお話ししておきたいのが、本そのものからエネルギーが出ているのではないということだ。

「本にはリコネクションのことが書かれているので、読むことを通してリコネクティブ・ヒーリングのエネルギーに意識が向き、つながってしまったのかも知れませんね」とプラクティショナー(リコネクティブ・ヒーリングやリコネクションのセッションをする人)がおっしゃっていた。



2014年
3月

しみわたる息吹

リコネクティブ・ヒーリング1回目



ネットで検索し、ピンときたプラクティショナーにヒーリングの申し込みをした。

その方は遠方にお住まいだったので、対面ではなく、遠隔ヒーリングになった。緊張しながら、ヒーリング前のヒアリングの電話をする。

最近まで全く人との交流がなく、友達とも何年も会わずに家にいたわたしは、ワクワクとともにとても緊張していた。

実際はプラクティショナーそのも

のがヒーリングエネルギーなんじゃないかと思うくらい、話しているだけで癒される方だった。

ヒーリングは無事に終了する。わたしの体の中にエネルギーがうごめいているのがわかった。それはリコネクションの本である「ザ・ゲート」を読んだときに感じた感覚と同じだった。空を見上げているときに感じる雲の流れのように雄大なものが、体の中と、さらには三次元を超えたわたしの中でなにかしているのを感じた。

あれはやはり、リコネクションの

エネルギーだったんだ。

本を読むことは、入り口に過ぎなかった。ヒーリングを受けた次の日、いきなり変わった。今まで、自分のことで精いっぱいだったわたしが、急に人のために動けるようになった。

家族との会話もままならなかったわたしだったが、水を得た魚のようにクルクルと動き回った。

それはいわゆる健康的な人のような動きではないし、いまだに疲れやすさは残っていたが、わたしにとっ

てはドキドキするような変化だ。

なんだこりゃ！となりながら、嬉しくって家族に話したことを覚えている。

それから少しずつではあるが、回復し始め、ときにはしんどくなったりと行ったり来たりをくり返し。泣いたり怒ったり、喜んだり。

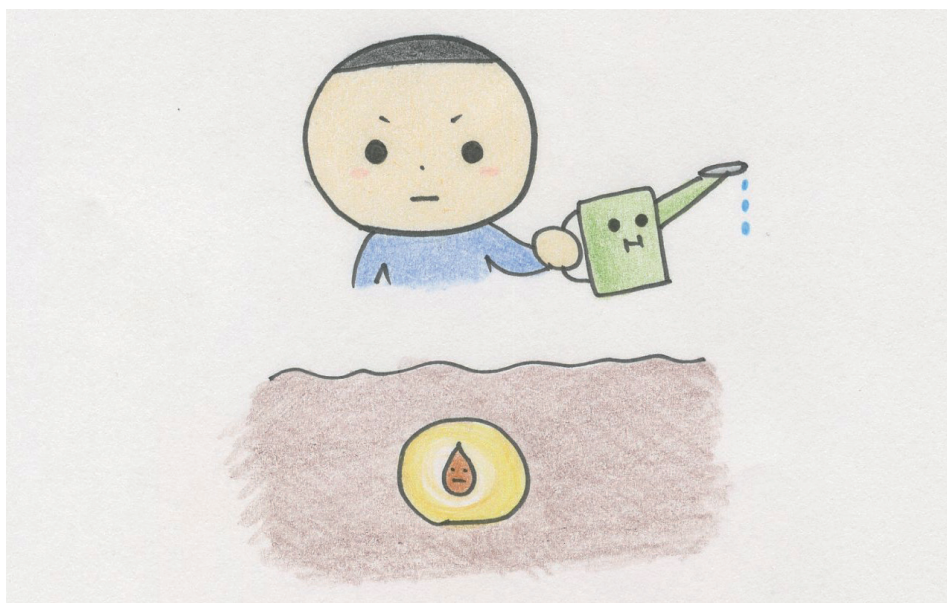
自分が遠くを見すぎて気づかった階段の一段をひとつずつ、丁寧にのぼっていくようだった。

● ● ● ● ● ● ● ● ●

2014年
4月

春を待つ

リコネクティブ・ヒーリング 2 回目



2 回目のヒーリングに大きな変化はなかったので、これから先は自分の努力次第なのかもと、リコネクション以外の健康への模索にまた戻ってしまった。

リコネクティブヒーリングは人生で3回しか受けることができない。次が最後のヒーリングであり、それでよくならなければ、わたしはどうしたらいいんだろうという恐怖もあった。

最高のタイミングで受けたいと、それがどんなものなのかもわからないままに、ただ懸命にもがいていた

ように思う。外に出る練習のためにボランティア活動も始めた。

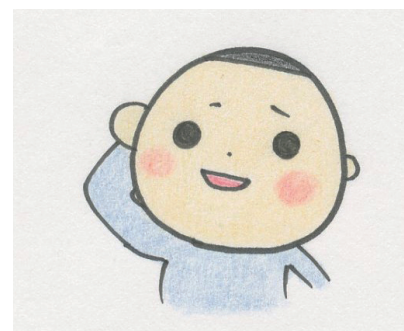
のちにわかったことなのだが、ヒーリングはそのときの状態、状況の局面に対しての3回ということなので、半年や1年たてば、またヒーリングを受けることは可能らしい。

わたしは勘違いしていたので、人生で3回しかできないと思い込んでいた。

「ザ・ゲート」に3回で十分という記述があったので、勘違いされている方は多いと聞いた。

思い返せば、恥ずかしい思い込みだが、そのときはそう考えている行動なので、そのまま書くことにする。

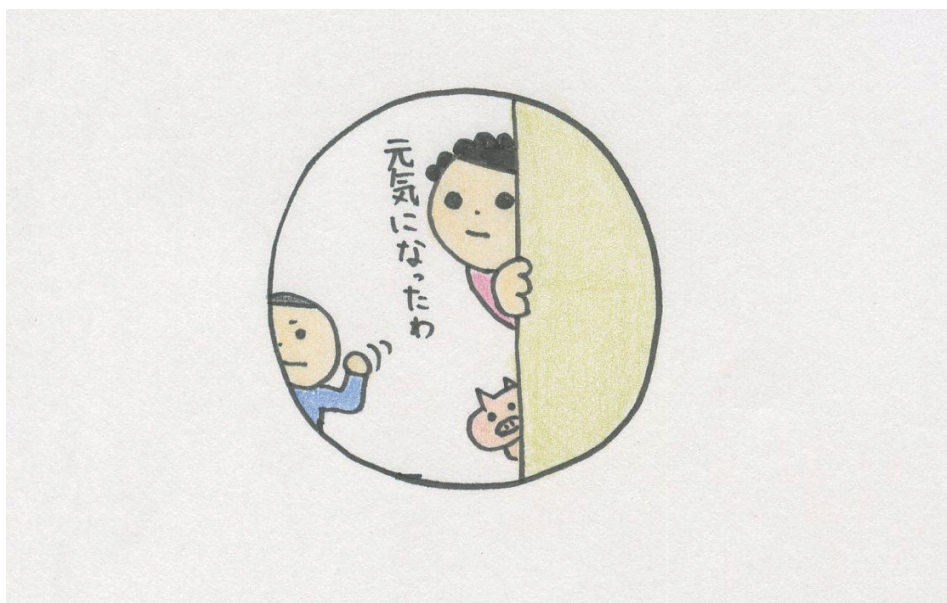
詳しくはプラクティショナーに聞いてほしいが、ヒーリングは3回以上受けることが可能だったのだ！



2015年
7月

植えた種は芽吹きだす

リコネクティブ・ヒーリング 3 回目



最高のタイミングは、先生がわたしの住んでいる地方へと来られるときにやってきた。

遠隔ではなく、直接にヒーリングを受けることができるとあわてて予約の連絡を入れた。先生がわたしのよう
にヒーリングで変化がある人は、3 回目のヒーリングでより変わることが多いということをおっしゃっていた。

その言葉通り、3 回目のヒーリングは1 回目とも2 回目とも違う変化があった。それは生きることへの力

強さが宿ったことだ。自分の軸のようなものが芽生えているのを感じた。

流されやすい性格だが、たとえ流されて自分を見失うことがあったとしても、自分に戻って来るスピードが格段に速くなった。どんなに流されていても、芽生えた軸の存在が消えることはなかった。

自分の意志で選べることが増えた。

外側から見たら、元気になっていくわたしの変化が目についたと思

う。それよりも、わたしは気持ちの変化に重きを置きたい。

わたしは自分がなかった。自分が寒いとか、暑いとか、そういうことが分からなくなっていた。嬉しいも悲しいも感じなかった。時折やってくる波のような苦しさはあった。

外側にばかり、目がいつてなぜか自分のことを見ることができない。人にすすめられたものを自分の夢だと選んだりもした。リコネクションの存在を知ってから、少しずつそれが出来なくなった。もう、自分以外のものになりたくないという気持ち

が生まれ、嘘がつけなくなってきた。それをすると、心が枯れるような感覚になった。そっちじゃないよと、宇宙が教えてくれていたのかもしれない。

そして今わたしは働いている。父の仕事で、一時的に人が足りなくなったものを手伝うことになった。週2ほどの仕事ではあるが、1人で電車にも乗っている。パニックにもならず、ときには眠くてウトウトするくらい、リラックスして電車に乗れるようになった。

リコネクティブヒーリングは、目に見えるものと見えないものとの両方に作用した。わたしはこのエネルギーが好きだ。気持ちよくて不思議で。さらにヒーリングを受けていると気づく必要もないところも面白い。

場所も関係がなく、恐れをもっていてもいい。心の持ち方次第で結果が変わるんじゃないかと心配していたが効果はちゃんとあった。その心配さえも癒してくれた。

わたしは感覚人間で、感覚でしかお話できないのだが、リコネクティブヒーリングを受けたあとはバラバラにまかれたプリントを拾い集めて、トントンとはしを揃える感じに似ている。なにかがそろっていく感じがあるのだ。

わたしの体験でいうと、自分にあった治療法を見つけるとか、素敵な本に出会うだとかそういうものだったりする。いわゆるシンクロシティ（意味のある偶然）だ。

他にも、いいタイミングで父から仕事を紹介してもらったものもその

一つと数えていいのじゃないだろうか。それってたまたまじゃないの？って言われたら証明しようがないのだ。

そろっていく感じはやはり、宇宙がプリントを揃えておいてくれたのだとは思わずにはいられないのだ。

わたしがリコネクションを好きな理由はまだまだある。効果がなくならないところだ。リコネクションは、一生に一度でいい。ヒーリングも、効果は続いていく。足りないんじゃないかと飲み過ぎてしまう薬のようなことは起こらない。そこが好きだ。

自分に合う治療法を見つけること、直感的に行動できること。わたしの傷がどれほどで、深いのか浅いのか複雑なのかはわからない。ただただ、求めている場所へつれていってくれる。ほらここだよと示してくれる。そんな力があるのを感じるのだ。

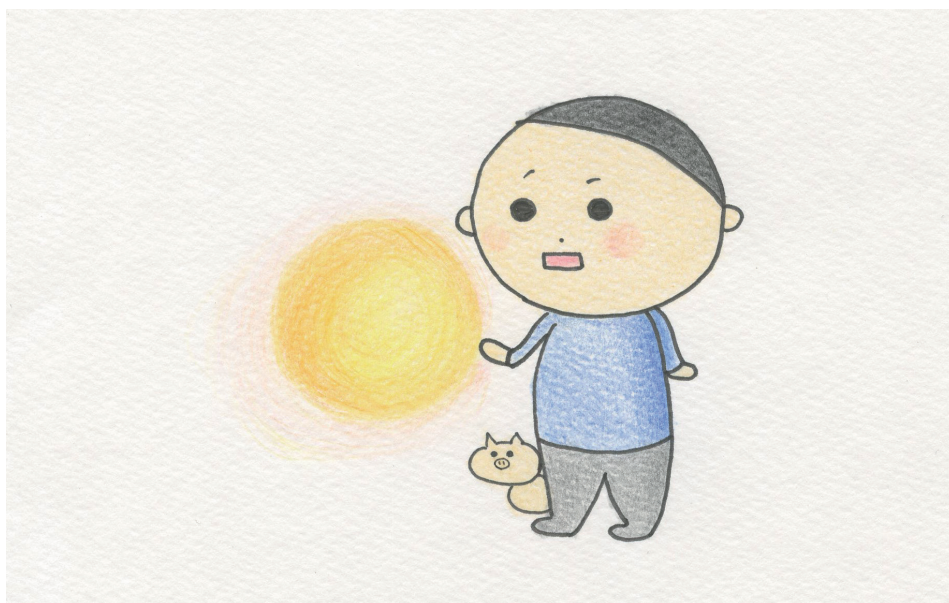
そしてわたしは、文章を書くのが好きだ。いつか、リコネクションについての本をかければいいなと思っていた。すると、体験談と絵をかくお話がわたしにやってきた。

まさか願いがかなうとは思わなかったが、こういうかたちもありなんだろう。なにが起こるかは個人差が大きいのだろうが、リコネクティブ・ヒーリングはこうやってわたしにひびいた。



はがれ落ちる、疲労と混乱

リコネクション



初めてリコネクティブ・ヒーリングを受けてから、2年ほどたち、とうとうリコネクションを受ける事にした。

ヒーリングの効果だけでは得られなかったことが起きた。

リコネクション 1 日目

急に腹筋ができるようになった。筋肉も貧弱だったはずなのに、なぜだかしっかりものが握れるとき気づいたわたしは、腹筋をした。そして、思いのほかスッと体を起こすことができた。階段も力強く登れるよ

うになっていた。これはどういうことだろうか。

リコネクション 2 日目 リコネクション完了

リコネクションが終了し家について、すでにわたしは変わり始めているのを感じていた。わたしはだんだんと人の話が聞けなくなっていて、すぐに頭の中が変になり、混乱しフリーズする。ヒーリングの効果でいくらか話せるようにはなっていたが、まだまだ会話は苦しいものだった。特に質問されると、どう答えてよいのかさっぱりわからなくな

り、ちょっとした質問、例えばご飯食べる？とかそういったものでも、イライラしたり頭が真っ白になったり。

そういうこともあって、出かけたとき、人とたくさん話した後などは頭の中がごちゃごちゃして変な感じがあるのだが、それが消えていた。

リコネクションのために遠出したにもかかわらず、家に帰って横になることも、緊張したからだをほぐすこともせずにふつうに椅子に座って、家族とおしゃべりをしていた。

そういえば、一度も休憩していない！となった。わたしは宇宙の叡智に降服した。かなわない。

リコネクションとリコネクティブヒーリングの違い

わたしはヒーリングを3回とリコネクションを受けた。その中で感じた違いをわたしなりにお話したい。ヒーリングはわたしとわたし以外のものとの接触した部分に何かしているような感じがあった。シンクロシティもそのひとつで、わたしと宇宙とのかかわりを癒している感じだ。

やわらかで雄大なエネルギー。リコネクションは体を貫く柱のような力を感じた。体に直接的に大きな作用があった。疲労感が激減し、意識がクリアになり、筋力がその日についた。

受けて数日たった今は、その境目が融合し合い、なんだか細かいことは気にならなくなったので、どちらでもいいやという気分だ。

リコネクションを受けて数日、いろんな悩みをふっとばすくらい、嘘みたいにすっきりと頭も心もクリアになった。頭の中のゴチャゴチャした声、不安な気持ちが、思い浮かんだその次にずっと溶けていくこともある。

疲労感もぐっと減った。

できないこともまだまだあるし、体調もなにもかも完璧ではない。だけど、焦ることはないかと思える。

疲れたあとに、お風呂に入ってホッしたり、心地の良い空気が窓から入って来て穏やかな気持ちになったことはないだろうか？その状態の時間が増えた。特に何もせず、

ひとりでボーっとしているときはもっと気持ちがいい。

両方受けたことによる相乗効果によるものだろうか。ヒーリングを受けただけで、わかった気になっていたわたしが、リコネクションの効果は想像を超えた。20、30%ですごいなあと感じていたのがあっさり100%の力を見せつけられたようだ。

漫画やアニメで、「お遊びはおしまいだ」というセリフがある。まだ本気じゃなかったのかよ、と驚くが、そんな衝撃を受けている。お手上げだ。わたしはこれからも、宇宙に降服しつつ生きていこうと思う。

まだ、リコネクションが完了して数日しかたっていない。これからわたしはどんどん、宇宙すごいなあと言っているだろう。

